

博士論文の審査結果の要旨

専攻	保健医療学専攻	分野	理学療法学分野
学籍番号	14S3022	院生氏名	後藤 和也
通学キャンパス	東京青山キャンパス		
論文題目	要支援者における介護度の違いによる特徴 ～歩数・身体機能・身体組成の面からの検討～		
審査結果(枠で囲む)	合格		
<p><審査結果の要旨></p> <p>本研究は、要支援高齢者における歩数・身体機能・身体組成の縦断的検討から介護度の違いを含めて特徴を明らかにすることである。対象は要支援高齢者 18 名(要支援 1 : 10 名, 要支援 2 : 8 名)である。方法は、歩数・身体機能・身体組成を 1 年間測定した。その結果、歩数は要支援 2 で低く、その変化率は要支援 1 で著しい。両群共に歩数は低下し、特に夏場で低下がみられた。身体機能と身体組成は、要支援 2 で左 c-TUG は低下し、全身と大腿筋量が低下した。また、要支援 2 において、歩数と TUG・左右 c-TUG に有意に非常に高い負の相関が認められた。本研究より、要支援高齢者では介護度に関わらず日常生活動作は維持するが歩数は低下し、それらの変化には介護度による違いがあることが明らかとなった。要支援高齢者に対する歩数の評価は重要であり、身体組成・身体機能の評価を加えることで介護度の違いによる特徴を捉えることができた。</p> <p>審査会は 12 月 13 日に開催した。要支援者の長期の介入による身体機能、身体組成の特徴に焦点をあてた意義ある研究だが、以下の点が不十分であることが指摘された。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、対象者の地域特性、季節、体調などの状況 2、測定方法の信頼性 3、データ処理の方法(ノンパラの処理) 4、身体活動量の定義:歩数 5、その他 誤字の指摘 <p>論文の修正を求めたところ適切に加筆、修正された。 口頭試問においても適切に応答した。</p> <p>以上の結果から、審査会の審査員全員は本論文が著者に博士(保健医療学)の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。</p>			
論文審査担当者	<p>主 査 丸山 仁司</p> <p>副 査 赤居 正美</p> <p>副 査 堀本 ゆかり</p>		